



居楽家ほろほろ 難波 淳一 さん (武蔵町奈原)
 難波淳一さん☎と、お店を手伝ういとこの難波憲介さん。店舗はコロナ対策も行って、「安心はおいしいプラス」(県の飲食店認証制度)に登録されています。



第7波にめげずにお店ののれんを掲げます。



自ら調理も行う難波さん。「料理もお酒もーから勉強しました」



通常営業に戻ったお店。多くの人々が、部屋の明かりを見て安心したことでしょ。

立ち上がる力をくれた地域の励ましの声

コロナ禍で特に深刻な状況にある、居酒屋などの「夜の飲食店」。休業や時短営業で追い込まれる中、心の支えになったのは常連だった地域の方々の励ましの声でした。コロナ禍の収束を願い、力を振り絞って事業者は立ち上がります。

「自分もお店も、地域の方々に支えられている」
 コロナ禍になって、改めて気付かされた

武蔵町出身の難波さんは、12年前に「ほろほろ」を知人から譲り受けました。「元々居酒屋経営に興味があったので、挑戦してみたいと思いました。お店を個室中心の造りにして県道沿いに移転させたところ、経営が順調になりましたね」と、当時を振り返ります。おいしい料理と落ち着ける空間が評判となり、お店は地域に愛される人気店に成長しました。ところが突然のコロナ禍で、創業以来初の「休業」に追い込まれます。「この2年間は休業もしくは時短営業で、ほぼ赤字。

やっと今年1月から通常営業に戻りましたが、今また客足が遠のいています。コロナ第7波に肩を落とす難波さん。一時は閉店も頭をよぎったそうです。そんなどん底の状態から立ち上がる力をくれたのが、地域の励ましの声でした。「うちの休業を心配したお客様からたくさん電話をいただきました。『時期が来たら必ず行くから、頑張ってください』と。本当にうれしかったです。コロナ禍で改めて気付かされました。自分もお店も、地域の人々の支えがあったからこそ、今までやってこれたんだって」。お客様の温かさに触れ、難波さんは前向きになりました。「愛着のある地元で、これからもずっとお店を開きたい」と、コロナ禍の収束を願って、今日もお店ののれんを掲げています。

プレミアム率30%の「国東市プレミアム商品券」を販売

市は、コロナ禍の長期化で落ち込む個人消費の回復や地域経済の活性化を図るため、プレミアム商品券事業を行います。プレミアム率(上乘せ率)は30%で、1冊13,000円の商品券を10,000円で販売します。地域内での消費を拡大することで、コロナ禍に苦しむ市内事業者をみんなで応援しましょう。

※本事業は「大分県地域消費喚起プレミアム商品券事業」の助成を受けています。



「国東市プレミアム商品券」の販売について

国東市プレミアム商品券の販売は、予約販売と通常販売にて行います。

予約販売 (応募受付終了)

① 予約販売の応募受付

予約販売については、市ホームページや市内全戸配布の周知チラシにてお知らせ済みです。

② 応募者への連絡と商品券の引き換え

応募者全員に購入引換通知(当選はがきまたは当選メール)を送付します。9月16日(金)までに、応募引換通知の日時・場所で商品券の購入をお願いします。

通常販売 (売り切れ次第終了)

9月12日(月)から、国東市商工会本所・支所で通常販売を行います。(午前10時～午後4時)

※予約販売と通常販売を合わせて一人5冊まで購入できます。

※窓口で購入される方の身分証明書(免許証、保険証など)をご提示ください。



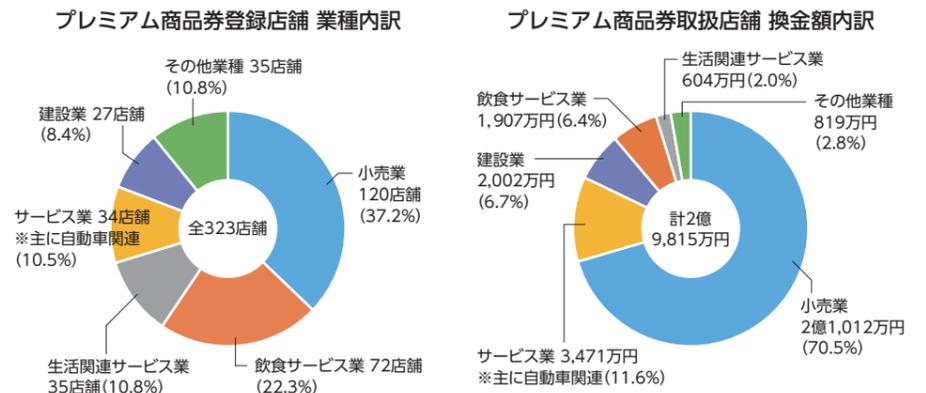
いろいろなお店で使って、国東のまちを元気に!

「商品券」は事業者への「応援券」

市は、今回のプレミアム商品券も「コロナ禍に苦しむ市内事業者を応援する」という目的で販売します。したがって、商品券は幅広い業種で使用されることが望ましいと考えています。

皆さまがご購入された商品券は、国東のまちを元気にするために、ぜひいろいろなお店でご利用ください。この商品券は、いわば事業者への「応援券」ともいえるものなのです。

前回販売した「国東市プレミアム商品券」の実績 (使用期間: 令和4年2月7日～5月8日)



【問合先】国東市商工会 ☎72-2000 (商品券の販売・換金に関すること)
 活力創生課 商工労政係 ☎72-5183 (商品券事業に関すること)

コロナに負けない!
 地域経済を活性化させ
 コロナ禍に苦しむ事業者を応援